



日東第一の矜りを受け継ぎ 次代を創造する

虎姫高校第1学年通信

75回生

# PIONEER

to pursue ideals and open a new era with enthusiasm and responsibility

第8号

令和2年4月22日

文責 学年主任

## とらすび特集

休校中に、自分の内面に目を向け、深い思索をしている様子がうかがえます。

4月16日

※共感する箇所や印象的な部分に線を引きながら読んでみよう。

### ◆Pioneer 第3号を読んで

私は「多角的な視野を備え、物事を正しく判断し、勇気を持って行動できる」が一番大切だと思いました。なかでも、「多角的な視野」を持つことは「正しく判断」することにも「勇気を持って行動」することにも繋がると思うので、「多角的な視野」を大切にしようと思いました。オリエンテーションで「質問することの大切さ」について話されていましたが、質問する時にも、物事を様々な方向からみなければいけません。したがって、一つのことを勉強する時、他の事とどう関連しているかを考えていこうと思います。(女子)

### ◆みんなのとらすびを読んで

僕は少し焦りを感じた。周りのみんなは自分の思いを的確に文字に起こしていたからだ。また、自分の夢や目標についてしっかりとした考えを書いていた人もいた。夢や目標がある人となない人では、行動の質や量に大きな差がでてくるように感じた。僕も、日々小さい目標を何個か作って生活していきたい。(男子)

### ◆将来のために

私は将来、人を助けるような仕事につきたいと考えています。以前までは、医者や消防士、警察官など直接人と接する仕事だけが人を助ける仕事だというイメージがありました。しかし、考えてみるとほとんど全ての仕事の人が助ける、支えるということにつながっているのだと気づきました。この休校中に、目標や夢、「誰のために何をすることができるのか」を考え、行動し、助けを必要としている人の手助けができるようになりたいです。(女子)

### ◆高校での初めての授業

30分の短縮授業が行われた。高校の授業は進むペースが速いと聞いていたが、このことでさらに速く進み、大変だった。不安だった高校での勉強が、より不安になった。しかしそれと同時に、家でしっかり学習しようという意識が強くなった。(女子)

### ◆休校

学校が休みだった火、水の2日間は、家で、友達と通話をしながらお互いに勉強の教え合いをしました。新しい友達と直接会えないのは残念ですが、学校にいるのと同じように、自宅学習に取り組めるよう頑張ります。(女子)

### ◆高校生らしさを感じた瞬間

最近、気持ちや行動が空回りしてしまっている。頭ではわかっているはずなのだが、課題に出されていたページを間違えて別のところをやってしまったり、間違った大きさのファイルを購入してしまったりするのである。「入学早々この始末ではまずい。かといって新しい環境を言い訳にするのは違う…。」などと色々考えた。こんな悩みは今まで抱えたことがなかったので、これが高校生クオリティの悩みなのかと失敗を反省しつつ、自分が一歩成長したことをうれしく思う、複雑な心境だった。(男子)

### ◆制服の壁

私たちは新学期を中学校の制服で迎えました。私は、それぞれ制服が違うことで、少しの壁を感じていました。初対面だから、緊張していたから、ということももちろんあったと思いますが、何より見える形で「違い」がわかってしまうからではないかと思います。そのような小さな壁を感じつつも、新しい友達もでき、新生活は楽しいです。私は「違い」により本能で壁を作ってしまう。ですが、違うことは当たり前なので、壁を作らないよう努めたいと思います。(女子)

#### ◆クッションについて

あなたは「人をダメにする」というキャッチフレーズで有名なビーズクッションを使ったことがあるだろうか。あのクッションは本当に人をダメにする。昨日私はあらためてそれを痛感した。おとこの夜のことで、愛用のクッションにジュースをこぼしてしまい、洗濯した。そのため昨日は一日クッションを使えなかったのだが、あれがないだけでくつろげない。普段私はリビングのこたつに入り、クッションを枕にしている。日によってはそのまま寝てしまい、気付いたら夕方ということもざらにある。なのにだ。クッションが変わっただけでこうも寝られない。その日はしようがなく一日宿題をして過ごした。そして、今日こう思った。あのクッションさえなければ私は日中寝て過ごすことはなくなるのではないかと。私はあのクッションに駄目にされていたのだ。(女子)

#### ◆今、自分にできること

「今、自分にできることをしなさい」とか「自分で何ができるか考えて行動しなさい」などの言葉を両親や周りの大人からよく言われます。この言葉を聞いても正直ピンときませんでした。しかし、じっくり考えてみると、自分なりに解釈できたような気がします。今、世界中が大変なときです。できることと言えば、人と会うのを避けること、手洗い、ニュースを見ること、そして、考えることぐらいです。でも、それでいいのではないのでしょうか。私は、考えること自体が大切だという結論にたどりつきました。一人ひとりがよく考えることで、行動に変化が現われるはずです。(女子)

#### ◆自分とは

私は小学生の頃に、「私とは一体何なのだろう」「何をするために生まれてきたのだろう」という謎を持ち始めました。自分なりの本を読んで調べてみたものの、そこには明確な答えが示されておらず、モヤモヤしたのを覚えています。高校生になった今、もう一度よく考えてみました。そして気付きました。「自分がいる理由は、人によってその内容も発見する時期もバラバラで、答えは一つではないのだ。」天職と思える仕事にめぐり合ったとき、「私はこの仕事をするために生まれてきたのかもしれない」と思うかもしれないし、尊敬できる素晴らしい人に出会ったとき、「私はこの人と出会うために生まれてきたのだ」と思うかもしれない。あるいは、ご飯を食べるのも忘れて熱中できる何かを発見したとき、「私はこれを成し遂げるために存在している」と確信するかもしれません。何にせよ、自分なりの答えを探すためには、いろいろなことに挑戦することが重要なのだと私は思います。そこで新たに気づいたことや出会った人たちを、人生を豊かにするための糧とし、人間として成長したその時に、自分だけの答えが見つかるよう、これからの日々を挑戦でいっぱいになりたいです。(女子)

#### ◆夢が見つからない

高校に入って進路や将来の夢などをよく聞かれるようになりました。でも私には夢ややりたことが特にありません。夢って、どうやったら見つかるのでしょうか。小さい頃はたくさんあったのに…。学校が長い間休みなんで、自分のしてみたいことと得意なことを、小さなことから何でも書き出して行って、夢について考えてみようと思います。(女子)

#### ◆生きる理由

これを考える時は、いつも楽しいです。中学2年生ぐらいから疑問を持ち始めました。人はなぜ生きるのか。この答は永遠に見つからない気がします。そもそもなぜ生命が誕生したのか。地球はなぜできたか。人はなぜ将来を大切にするのか。どんどん疑問が出てきます。全ての物事に目的があるのだとすれば、疑問が解決するはず。その答を見つけるためにも、しっかり学び考え続けたいと思います。(男子)

#### ◆サティから現代の人々へ

私の好きな作曲家はサティです。3つのジムノペディやCMソングにもなった6つのグノシエンヌという曲を作った人として有名です。彼の音楽は、古典音楽とは大きく異なります。古典音楽は和音が多用され、強弱が激しいのに対し、彼の曲はそのような要素が少なく「引き算」をした音楽のように思えます。だから、サティの曲は、古典音楽にはない寂しさや切なさなど複雑な感情があるように感じます。サティは従来の形式を否定し新しい音楽文化を大成しましたが、私たちにはそこから学べることがあると思います。それは、古来の文化や風習に依存しないことです。もちろん伝統を守ることは大切です。しかし、私は新しい文化をつくりあげていく方が大切だと思います。(女子)

※休校中に書いたとらすびは、後日まとめて提出してください。